愛媛県立川之江高等学校　令和４年度　シラバス

教　　科	芸術	科　　目	書道Ⅰ
単 位 数	２単位	学年・類型	第１学年・全クラス（選択）
使用教科書	書Ⅰ（光村図書）		
補助教材等	なし		

１　学習目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成します。

２　学習方法

各分野において、自己を主体的に表現するために、古典の臨書により習得した技法を、どのように活用していくかについて、初歩的な作品の制作を通して学習し、芸術的な表現や日常の書写へ生かしていく姿勢を身につける。

書道Ⅰにおいては、古典や作品の様々な書美の第一印象による感性を重んじ、各人の感じ方や好みなどを明確にする。また、多面的な見方や鑑賞を通して意見を交換することにより、書の良さや美しさを理解する基礎的な力を養う。

３　学習評価

(1)　評価の観点の趣旨と方法

観点　　評価	評　価　の　観　点　の　趣　旨	評　価　の　方　法
知識・技能	古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。	○学習活動への参加の様子や態度 ○提出作品 ○ワークシート
思考・判断・表現	【表現】古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【鑑賞】古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	○提出作品 ○ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取組もうとしている。	○ワークシート

(2)　各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、作品制作、授業態度、課題の提出状況を総合して行う。学年末の評価は、１・２・３学期の評価を平均して行う。

４　学習のポイント

○　道具の準備や片付け等にもきちんと取り組み、授業での達成感を得る。
○　書道の実技において、主体的な態度で積極的に取り組む。

５　学習計画（予定）

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	書写から書道へ	・芸術家書道の学習に関心をもち、書道で学習することや、小・中学校の国語科書写で学習した内容に関心をもち、主体的に取り組んでいこうとする態度を養います。
5	文字の造形を学ぶ（楷書）	・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけます。
6	文字の造形を学ぶ（行書）	・行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにします。
8	文字の造形を学ぶ（草書）	・草書・隷書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成

9	文字の造形を学ぶ（隷書）	を生かした表現を身につけます。
10	文字の造形を学ぶ（篆書）	
11	文字の造形を学ぶ（仮名）	・仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えます。
12		
1	漢字仮名交じりの書	・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫します。
2		
3		